

C 中学生海外英語研修 Canada



教育委員会は、次代を担う国際性豊かな青少年を育成することを目的に、中学生海外英語研修を開催しています。今年は中川根中学校13人、本川根中学校7人の計20人の生徒が参加。同行した前田教育総務課長や引率教諭から、「異国の地で期待と不安を抱きながらも10日間を無事に過ごすことができた。言語や文化が異なり、思い通りにコミュニケーションを図れないことに戸惑いをみせたものの、参加者それぞれが積極的にチャレンジする姿勢が見られた」と報告がありました。

前田教育総務課長は「今回の英語研修に単に参加して良かったということだけではなく、今後はこの貴重な体験を生かして、どのように『英語』と向き合って自身を向上させ、人生の糧にしていくかを期待したい」と研修を総括しました。

海外英語研修は、私にとって大きな自信を与えてくれる貴重な体験となりました。

私がホームステイをしてみて一番困ったことは、ホストファミリーとの会話でした。話すスピードが速く、初めは何を言っているのか全然わかりませんでした。しかし、何日かすると話すスピードに慣れ、だんだん言っていることが理解できるようになりました。

そのため、会話が弾み、楽しく過ごすことができました。また、自分からも積極的に話しかけることができるようになり、自分が成長していることを実感することができました。

今回の海外英語研修で体験したこと・感じたことを無駄にしないよう、これからの生活に生かしていきたいです。



#1 Kiyoka Sakashita
中川根中学校2年
坂下 聖香

私は海外英語研修を終えて、自分の思いを伝えることの難しさをあらためて実感しました。ホストファミリーと初めて会った日は、緊張して自分から話をするのができませんでした。

しかし、何日か経ち、自分が何をやりたいかや、気持ちなどを伝えることが多くなってきました。自分の知らない言葉を相手に伝えるというのは難しかったです。

でも、そんなときは、指で物を示したり、ボディランゲージで何とか伝えることができました。自分の言いたいことを相手に伝えられたときはうれしかったです。

これからの英語の授業では、自分から積極的に英語に向かい、私の知らない言葉をたくさん覚えていきたいです。



#2 Fuka Nakamura
中川根中学校2年
中村 風香



Yuka Ishikawa

中川根中学校・引率教諭

石川 由香

本庁での見送りから始まり、キャビンアテンダント、現地スタッフ、ホストファミリー、行く先々の人々…。多くの方々の優しい愛に包まれた素敵旅でした。異国の地、英語だけの生活…。不安だらけで、決して気持ちにゆとりのある旅ではなかった。はずなのに、スカイトレインでさりげなく席を譲ったり、通りすがりの小さな子にほほえみ、手を振ったり…。そんなけなげな生徒たちの姿に感動し、涙があふれました。様々な経験の中では失敗もあったけれど、これからに必ず生きてくるはずで、カナダの広大で美しい景色や人々の穏やかさに大きく心を動かされたことでしょう。そして、改めて感じたふるさとの素晴らしさ。家族の深い愛。



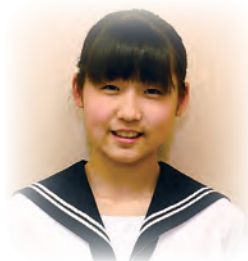
Kosuke Sugiyama

本川根中学校・引率教諭

杉山 皓亮

期待と不安を胸に抱きながら、九時間のフライトを経て、バンクーバーに到着しました。生徒たちにとって、親元を離れ、異国の地で生活するということは大変厳しいものでした。特に、言葉の壁は高く、伝えたいことが上手く相手に伝わらない、どうしていいかわからないことが多々ありました。しかし、辞書を片手に一生懸命コミュニケーションを取ろうとする生徒の姿を、時間が経つにつれ、目にするものが多くなりました。また、その気持ちに応えようとする、カナダの人々の優しさも感じました。

自分の目で見て、耳で聞いて、口で話すという生きた体験が、生徒を一回りも二回りも大きく成長させ、より逞しくさせてくれました。自分自身の成長のために、外の世界へ一歩踏み出し、生きた経験を今後大切にしたいと思えます。



#3 Miyu Kosaka

中川根中学校2年

小坂 海結

この海外英語研修で一番会話に出てきた言葉は「Thank you」そして、「You are welcome」です。たった二文ですが、コミュニケーション力にもつながり、とても大切な言葉だと思いました。私にとってこの二文はとても大きく、心に残るものとなりました。また、私はカナダで困った事がありました。それは、日本のトランプのゲームを教えると言われた時です。そこで私は「銀行」というゲームを教えました。私の分かりにくい説明も必死に理解をしようとしてくれてうれしかったです。



#4 Runa Suzuki

中川根中学校2年

鈴木 瑠菜

海外英語研修に参加して思ったことは、意思を伝えるのは大切だということです。私は研修中に意思を伝えられず、困ることがたくさんありました。

私が「紅茶が好きです」と言うのと、朝食では毎日たくさんのお茶が出てきました。私は何も言えず結局最終日まで毎朝飲みました。他にも、私は毎日、シャワーを浴びることができませんでした。ホストファミリーからも勧められず、自分からも言い出せなかったからです。

しかし、ホストファミリーは、私のことを大切にしているいろいろなことを考えてくれていたと思います。

そんな時、いつも意思を伝えることは大事だと思いました。伝えないと、相手も自分も困ります。私は、自分の意思を積極的に伝えたいと思います。

